

先天性心疾患の早期発見を促す診療支援AI

FUJITSU

HOPE LifeMark

胎児心臓超音波スクリーニング支援システム

「AIを用いてより多くの赤ちゃんを助けたい」

出生前診断率が30～50%の胎児の先天性心疾患について、AIを用いて胎児心臓の各部位の検出結果を提示することで、医師の診療を支援し、出生前の早期発見・治療に貢献します。

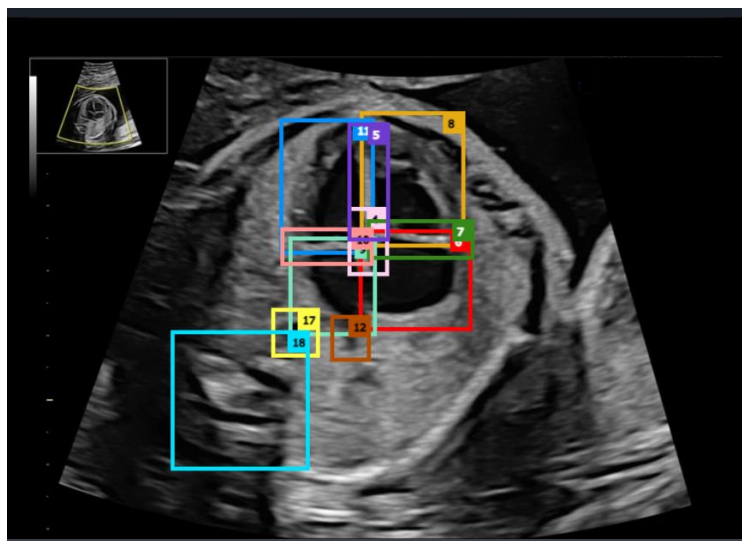
販売名：HOPE LifeMark 胎児心臓超音波スクリーニング支援システム
医療機器承認番号：30600BZX00155000
一般的名称：超音波装置ワークステーション用プログラム
クラス分類：クラスⅡ（管理医療機器）

※本プログラムは、胎児心臓の各部位を検出することで検査者による正常異常判定を支援することを目的とする製品であり、本プログラムによる検出結果のみで先天性心疾患のスクリーニングや確定診断を行わないでください。

※本プログラムの胎児心臓の部位検出結果には、正常部位を検出しない場合や、形態異常部位を検出する場合があります。

AIによって胎児心臓の正常な部位を検出・結果表示

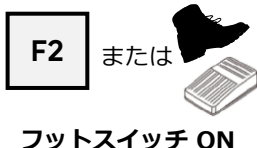
胎児の心臓スweep動画から、妊婦健診の際に確認すべき心臓や周りの血管など18か所の部位をAIで検出し、部位検出レポートとして表示します。胎児心臓の正常な部位をAIが検出・結果表示することで、産婦人科医による胎児の形態異常症例の見落とし防止を支援します。



HOPE LifeMark 胎児心臓超音波スクリーニング支援システム 解析結果画面

利用イメージ

通常の胎児心臓超音波スクリーニング検査でのエコー画像を元に解析が可能なので、現在の妊婦健診の運用を変えることなく、ご利用いただけます。また、検査中に解析結果が返ってくるため、解析が上手くいかなかった場合、妊婦さんがベッドに寝ている間に再度動画をキャプチャすることで解析のやり直しができるため、再度検査をし直す必要が無く、**妊婦さんの負担を増やすことがありません。**

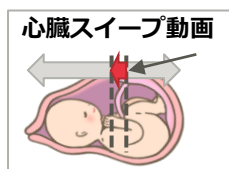


キャプチャー

心臓のスweepが終了したら、キャプチャーの操作をします。
(※F2キー押下および、フットスイッチ等の操作)



クラウド上へアップロード



画像送信

自動的に**15秒前**からの映像がクラウド上に送信され、クラウドのサーバ上でAI解析が行われます。



2～3分で解析結果返却



AI解析～正常異常判断

解析結果が**2～3分で返却**されます。汎用PCで解析結果を確認し、それを元に医師が正常異常判断を行います。
※必要に応じてキャプチャー、画像送信をやり直します



クラウド上へデータ保存



患者説明・結果保存

医師から患者説明を行います。万一、疑義が生じた場合には精密検査の実施や、他院への紹介を行います。
※必要に応じてデータを保存します。

製造販売元：富士通Japan株式会社

〒212-0014神奈川県川崎市幸区大宮町1番地5 JR川崎タワー
TEL:0120-835-554 (富士通Japan お客様総合センター)

※記載されている会社名、製品名、名称などの固有名詞は各社の登録商標または商標です。

© 2025 Fujitsu Japan Limited



デジタルでつなぐ、医療の未来。
ASOURCE
[SaMD]

品番: AP-01

販売元



MEDIUS

連絡先

メディアスホールディングス株式会社

〒100-0006 東京都千代田区有楽町一丁目2番2号

みんなのいりよう

☎ 0120-37-1640 受付時間/9:00～17:00(土・日・祝日を除く)



本製品の売上の一部を、国連WFPのレッドカップキャンペーンに寄付します。寄付金は国連WFPの「学校給食支援」に役立てられます。

